

目的・基本スタンスは1学期の通りです。

～おさらいコーナー～

■ 2学期の課題

- ・ Kさんのこと
- ・ AさんとDさんの関係
- ・ 良い顔するけど、放課後の姿・・・

■ そのためにやること

- ・ 運動会実践！！！！！！！！！！

(実行委員は全員で。応援団・企画局・編集局に分かれてそれぞれ活動。通称3局。笑)

恐ろしいことに来年度の報告があたっているのでこんなに気合の入ったページ数になっています。いつもは多くて3ページとかです。17で。

～ふりかえるとこの2学期はなんやったんや(目的)～

① 子どもたちに未来へのお守りを持たせてあげたい

② 民主主義をクラスで実現したい

・・・この2点の願いを持って取り組んでいた気がする。

① 未来へのお守りとは

NHK『プロフェッショナル』で見たウエディングプランナー佐伯恵里さんの言葉を拝借。

「結婚式は未来へのお守り。」・・・この先つらいことがあっても、このことを思い出したら心が温かくなる。頑張れる。行事多発もはやテロの2学期。学校での日々がそういうものになればいいと思う。(その時大阪の放火とかいろいろあって超感じた。)

ちなみに佐伯さんにとってのプロフェッショナルとは、「お客様の未来を信じて、思いを馳せて、心を砕いて、寄り添える人」。佐伯さんは、お客様のことを聞いて聞いて、知っていき、二人の願う結婚式はどんなものなのかを常に考えて創っていくそうです。お客様を子どもたちに、結婚式を行事に変えると、そのまま教師の仕事に当てはまります。

※秋桜の先生も佐伯さんと同じ営みをいつもされているように思います。

② 私が思う民主主義は

みんながみんなの声を聴く。みんなのことを考えて決める。意見が反映されて実現する。意見が言える。弱者(困っている人)の存在に気づく。リーダーシップとフォロワーシップ両方を大切にする。あかんリーダーにはついていけない(維新政治を選ぶ府民omg...)。ええリーダーを選び、ちゃんと応援・協力する。・・・ということができている状態と思っています。

(社会の授業で歴代のリーダーや民衆の姿からあかん例や理想像を学び、わたしも子どもも実践につなげる。というのがパターンになりつつある。6年だからできることやな...と思う)

各行事でこれらを意識して取り組みましたが、運動会実践では、とりわけフォロワーシップの大切さに気づかされました。

# 1. 何をしたのか - 2学期に新たに取り入れたこと - (内容と方法)

## ・宿題を書き加えた予定一覧表

だんじりで長期欠席などいろいろあったので、宿題も書くのが普通になった。しかも2週間分がデフォルトに。おかげさまでスムーズに学習が終わって、学期末に子ども企画の図工やお楽しみ会、出前授業などいろいろなことができた。3学期は残り46日分のカレンダー付でスタート。

目的は2つ。①共に見通しを持って協力してもらう。

②自分も子どもも計画力を身に付ける。(私は計画が超苦手。)

※ 3学期の算数は復習なので、テスト日程と範囲を示し、それまでの全時間の計画を自分で立てて、学習を進めるというスタイルを取っています。

算数嫌いの子が超頑張っていたりと、めっちゃ順調です。

こういう時間が各学年取れたらいいのに。

## ・出会い直しの授業 ※**秋**

過去の担任に授業をしてもらう。何を大切に何を伝えてきてくれたのか、今ならわかる…。みんなに大事にされていたと実感すること、多角的なものの見方を養うことなどが目的。2学期は5年時の担任と校長による授業。その他の先生は3学期にそれぞれ予定。自分が良いクラスを作れたか、ということよりも、その子にどんな人になってほしいかで考える。

### <経過報告> ※時系列

3年時担任：転勤先の学校に手紙を送り、卒業文集のメッセージなどをもらった。

5年時担任：道徳(上村愛子選手の教材。チャレンジ精神の話。)

校長：人権学習(部落問題学習。就職差別、自身の経験、友人の話。)

2年時担任：総合学習(防災&人権学習&道徳? 阪神淡路大震災時の被災体験など。)

1年時担任：総合学習(性と生の学習。妊娠、出産の話。)

4年時担任：総合学習(キャリア教育。前職の経験の話。※2月予定)

## ・実行委員形式 ※同志会しか勝たん

1学期のように有志ではなく、2学期は必ず何かの行事の担当者になる。修学旅行・JA料理体験教室・車いすバスケットボール体験出張授業・音楽会・卒業文集の中からどれかに所属。人数制限はほぼしていないが、上手く決まった。運動会は全員が3局のどれかに所属。※運動会については後述。

## ・包括的性教育(「自分も周りの人も大切にできる人になってほしい」という願いの根幹)※**性**

本格的に実施。授業ですることもあったが、チャンスがあればその都度話す。継続し、それを親に伝えていくことが大切。アンケート実施→学習内容について意見と許可をもらう→授業→感想のフィードバック→授業→・・・の繰り返し。2学期に性交まで扱ったのでそれについてはお便りではなく懇談時に資料にして直接説明した。保護者との距離が近くなったように感じる。3学期は避妊の話もしてほしいなど保護者からリクエストももらっている。

## 2. 運動会実践（2学期のメイン実践）

子どもが主役！みんなが主人公！子どもの子どもによる子どものための運動会！  
とは言うけれど。っていう話。

### (1) 何しに組織すんねん？てか組織するてどうやって？むずくね？（目的と課題）

よく運動会や子どもたちのことについて、父から「管理運営」とか「自治」とか「組織する」とかそういったキーワードが出てきていたのだが、自分ではできた試しがなかった。ていうか、わたしが組織を知らなすぎた。組織の部署自体も、資質能力についても、何がどうつながっているのか分かってなかったから、そらできへんわなという感じ。

そこで、まずは組織を管理することについての難しさを何とかしようと考えた。既存の実行委員会形式では、休み時間・放課後が割かれ、教師にも子どもにも負担が大きいわりに準備不足になりがちで中途半端なものになってしまうことが多く、限界を感じていた。しかも、実行委員ばかりが目立ったり、決定権があったりと、民主主義とはほど遠いとも思っていた。運動会はやはりみんなが主人公になってほしい。(私は来てもらえなくても頑張れる子だったけど、来てもらったときめっちゃ頑張る子だったようだ。頑張りすぎて熱を出した。自分たちで創ったものなら、尚更ただだろう。などの個人的感情によるこだわり。)そこで、全員が何かの組織に入るようにしようと考えた。

### (2) 何する組織やねん？（内容）

ではどのような組織が良いか。内容を考えることにした。今回、6年生の単学級なので、職場の合意さえ取れば運動会そのものの雰囲気宮本の好きにできそうな気配。野望がきらめく。自分の実践を理解してもらい、職場づくりにつなげるチャンス。絶対にしたいことが二つあった。それは、「表現を子どもたちと(子どもたちで)つくっていくこと」「子どもが作った新聞を全校で配ること」の二つ。新聞については、村田先生の実践から学び、ずっとあこがれていた。(その時、同時にテーマが重要ということも聞いていたので意識した。でも、岨先生の実践を聞くと、わいのテーマ設定の仕方ってめっちゃゆるゆる(甘すぎ)やったんやなど反省。今後活かしまーす。)新聞は声を拾い、声を届ける媒介であり、まさに民主主義が溢れる出処。「言いたいことを言う」「声を聞く」「良い意味でのプロパガンダ(荒れていない6年という文化継承)」ができる場所やーーーんと俄然燃えた。

### (3) 結局どないするねん？(方法)

突如閃く3局。同志会天才。優勝。あざ!!!でも3局いつも幽霊でgomenasorry。

じゃあこの内容で組織化…と考えると、2つに分けるは人数が多すぎる。3つくらいが良い・・・そこで頭に浮かんだのが同志会の3局。編集・事務・研究…何か違う。あ！やったやん大阪大会で！企画局！笑 —————・・・新聞づくりを「編集局」、表現づくりを「企画局」、そこにこれまたクリエイティブな作業が必要な「応援団」(局じゃないけどな…)を付け加え、3局が出来上がった。ほんま同志会しか勝たん。

#### (4) 忘れてはならない職場での合意形成(忘れると何かが勃発する)

これを子どもたちにおろす前に、職場の合意が必要。というわけで1発目に一緒に表現を行う高学年の先生(同時に体育主任でもある)にまずOKをもらい、2発目に管理職にOKをもらい、最後に職員会議でOKをもらい、3局体制で動けることになった。(岨実践を聞くと、こちらは運動会ありきで動いているのでこのあたりはちょっとトップダウンかもとも思う。あっちは市民革命みたい笑。こっちはゆるっとちびっこ民主主義な感じ?・・・違うな。ゆるっと子ども議会?なんかとりあえず子どもの意見が通りやすく活動しやすいシステムとして3局を作ったという感じ。)

ちなみに「3局」という名前があると何か私も子どもも動きやすいという不思議な現象が起こった。肩書もあるし、仕事という責任感と何かできる感?

次に、3局それぞれに局長・副局長(団長・副団長)を置いた。その人が、私と局との窓口になる。何かみんなに伝えるときもそこが言うし、だれかが局に言いたいときも、そこに言う。

・・・なんか長くなってきたので次にまとめます。

・・・\(^o^)/・・・

### <3局まとめ>

- ① 「編集局」「企画局」「応援団」に分かれる。
- ② 局長・副局長(団長・副団長)を置く。その人が窓口。
- ③ 学活や総合の時間などの授業中に3局会議をする。足りない時は休み時間・放課後。(宮本はうろうろしてカメラおばさんをしたり相談に乗ったりする。)
- ④ 会議終わりには各局長が会議内容を報告し、みんなで聞く。  
決まったことと次への課題を確認する。
- ⑤ 開始は7月初旬。運動会は10月初旬予定。(結局コロナで11月になった。)
- ⑥ 応援団・企画局は夏休みに時間を取った。
- ⑦ 職員会議で許可をもらった上で行う。

### <3局の時に大事にしたこと>

- ① 父がよく言う「リーダーシップとは、熱いハートとその気にさせる力」  
その気にさせる力とは、「仕事の中身を伝えて、後は任せること」
- ② 父がよく言う「起承転結」  
初めから終わりまでを子どもらでやる。企画立ち上げから総括まで。  
それを自分たちの次の活動へ、学校の次の世代へつなげることを視野に入れる。

### <3局の仕事内容>

○先にこちらが依頼したこと

応援団：赤白それぞれの応援の①曲 ②ダンス ③掛け声・太鼓・小道具 を決めて練習する。

企画局：表現の①曲 ②内容(ダンス・集団行動・器械体操) ③授業の司会 ④衣装 ⑤題名  
内容については、事前アンケートで上記3つが希望に上がったため、採用された。

民舞は0票。この時点では組体操も0票だった。でもアンケート紛失。Sorry・・・

編集局：①全校児童に配る新聞づくり ②高学年に配る新聞づくり

それぞれの題名、いつ・何を発行するか計画を立てて、実行していく。

## ○結局やったこと

最終的に子どもたちが総括会議で書いたことをほぼそのまま書いています。

応援団	企画局	編集局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに学校へ行って、ダンスを考えたり覚えたりした。</li> <li>・曲を見つけてダンスを覚えた。</li> <li>・TikTokを手本に完コピした。</li> <li>・ダンスのキレも動作も一人ずつ意見を出して考えた。</li> <li>・歌詞を表現に出した。</li> <li>・ダンスを細かく教えた。</li> </ul>	<p>&lt;ダンス&gt;</p> <p>0から自分達でダンスを考え、進み方なども考える。みんなの表現を考える。</p> <p>&lt;器械体操&gt;</p> <p>1からやることを考えたりする。カウントで分けた。インターネットなどで参考にした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を撮る。</li> <li>・記事をまとめる。</li> <li>・インタビュー。</li> <li>・アンケート。</li> <li>・クイズを考える。</li> <li>・配達。</li> </ul> <p>(※印刷は教師)</p>
補足 係活動の司会・休み時間の練習・当日の応援	補足 衣装決め・タイトル決め・当日のアナウンス	補足 新聞名決め・役割決め
各人数と男女比について ※男子がじゃばる傾向があるのであえて書いています。		
<p>赤組 4人(女2男2)</p> <p>白組 4人(女2男2)</p> <p>※男女など人数は学校からの指定</p> <p>※団長・副団長はいずれも男子が立候補し赤白各組で選挙が行われ選出。</p> <p>※4, 5年生もそれぞれ赤白4人ずつ</p>	<p>ダンス担当 6人(女5男1)</p> <p>器械体操担当 6人(女1男5)</p> <p>※計12人。人数、男女等指定なし</p> <p>※局長は女子。副局長は男子。局内で決定。器械体操担当は実務をSが行っていたため、結果的にSが窓口になっていた。</p>	<p>9人(女4男5)</p> <p>※人数指定なし。</p> <p>※編集長は男子(D)、副編集長は女子。局内で決定。しかしその後、面倒くさがるのDが全く仕事をせず、U(女子)が編集局長として新たな役割に。Dは名前だけ。UはMVP。</p>

※応援団は、コロナ対策により応援合戦なし。そのため、演技中にかかるBGMに合わせてダンスを踊るという形式をとった。去年もそのようにしたが、今年は掛け声ありなので、思う存分叫んでいた。男子が。

・・・これ以上書くのが面倒になってきたので、活動の様子をまとめたスライドを用意しました。ご覧くださいませ。

#スライド

## <実践経過>

	子どもの仕事	教師の仕事
イオリテ	<p>テーマ決め・アンケート・3局役割決め</p> <p>7月13日</p> <p>※この時テーマは決まったが、学校全体のスローガンは体育委員会で集約し決めてくれるので、そちらに消化される形になった。</p> <p>この時出たやつ→「領域展開！百発百中！浜にハマらせろ！」見たいなノリのテーマ笑</p> <p>ほんま唄先生に見せたら失笑やで\(^o^)/</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート準備</li> <li>・何しにこの体制をとるのか目的を伝え、納得してもらう。</li> <li>・仕事内容を明らかにして伝える。</li> </ul>

<p>2 計 画 ①</p>	<p><b>1学期末の3局</b> (1時間)  7月15日  それぞれの長・副長決め。 ① ダンスと器械に分かれる。衣装・曲決定 ② タイトル決定。記事内容の計画。 ③ 曲決定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うろうろするカメラおばさん。</li> <li>・夏休み中に曲準備! したかったけど後で変更されたり大変よ・・・。</li> <li>・Tシャツのサイズ調査→発注。</li> <li>・染料発注。</li> </ul>
<p>3 計 画 ②</p>	<p><b>企画局・応援団夏休み会議</b> (約3回)  地獄の振付計画。 ① この時点で半分は作り終わりだったが、ダンスの方が結構大変だった。器械は順調。 ※子どもにはあまり欲がなく、短くしたがる傾向あり。</p>	<p>「苦手な子を救うことを忘れない」 「みんなが納得できるような内容に」 この2点をお願いした。 それ以外は基本はほったらかし。相談された時と、停滞したり暴走したりと心配になった時には入る。 この人たち半日くらい学校にいた。</p>
<p>4 計 画 ③</p>	<p><b>2学期開始 3局</b> (6回+空いた時間)  8月25日・27日 9月1日・8日・29日 ① 振付確認。続きを考える。授業の計画。 並び順の決定(6年のみ)。 ② 新聞づくり。 ③ 振付考えて覚える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定を立てて示す。</li> <li>・うろうろするカメラおばさん。</li> </ul>
<p>5 準 備</p>	<p><b>衣装のタイダイ染めTシャツ作成</b> (3時間)  9月3日・7日・10日 子どもはやるだけ楽しいだけ～ 去年もタイダイ染めのフラッグを作ったので、絞り作業は5年に教えるのも含めて6年にお任せ。 ① この少し前くらいから新聞発行しだす。</p>	<p>鬼の染料&amp;お湯の準備・・・\(^o^)/ 絞る 合同で1時間 染める 各学年1時間 洗う干す 各学年1時間をとった。</p>
<p>6 練 習 ①</p>	<p><b>6年ダンス練習</b> (4時間)  8月31日 9月2日・7日・9日 先に6年のみで練習。 ① ダンス最後まで完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラおばさん。</li> <li>・でしゃばって補足入れる。</li> <li>・おたよりづくり。</li> </ul>
<p>コロナで運動会延期&amp;だんじり事変で小休止。</p>		
<p>6 練 習 ①</p>	<p><b>6年ダンス・器械練習</b> (4時間)  6年のみで練習。 ダンス(復習・隊形移動)・・・2回 器械・・・2回 ① 隊形移動・並び順考えておく。 器械3人技まで。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラおばさん。</li> <li>・でしゃばって補足入れる。</li> <li>・おたよりづくり。</li> </ul>

スローガン決定『みんなが笑顔でコロナに負けず、浜にハマる最高の運動会。』

<p>7 練習 ②</p>	<p><b>合同練習開始</b> ※校内の運動会日程開始 (16時間)</p> <p>ダンス…6時間 10月(14日)・20日②・22日②・25日② ※外行ったかも。忘れた。</p> <p>器械…4時間 10月27日②・29日②</p> <p>3局…1時間 10月31日</p> <p>全体通し(運動場)…4時間 11月1日②4日②</p> <p>リハ…1時間弱 11月5日</p> <p>リレー・徒競走の練習は全部で3回くらい。表現で空いた時間など適宜使った。それ以外は勝手に放課後に残ってやっていた。チームは走力がバラバラになるようにみんなで決めた。</p> <p>① 入退場を考える。 ② 係活動の司会進行。休み時間練習。低学年にお披露目。 ③ ひたすら新聞発行。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14日はやったかどうか微妙。謎。</li> <li>・久しぶりに3局とる。なんか子どもらがめっちゃ休み時間使って頑張ってるのに追いつかなくなってきてて、ごめんってなって、3局とったら「ありがとう先生」と言われた。いやこっちがごめん。その代わり犠牲になる道德。アーメン。(10月28日)</li> <li>・おたよりを見ていると、6年だけで7回目をした模様。多分10月28日の走の時の空き時間。</li> <li>・運動場での練習により、修正が多々入る。(特に器械)</li> <li>・本番1週間前までに応援BGMのCD制作。でも結局修正入って直前になって放送担当に迷惑をかけるのがデフォルト。結構めんどい作業。でもこだわりが出て入退場曲選びで遊ぶ。</li> </ul>
-----------------------	---	--

運動会係打ち合わせは全3回。各担当の先生が指導。

<p>8 本番</p>	<p><b>本番</b></p> <p>ひたすら楽しむ。演技も係も頑張る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナを理由に走ばかりで高学年の出番が多く、5年を並べて合図したり、6年で前に立つなどかなり忙しかった。私は応援団とダイエットがてら踊りたかったのに…。この辺はもっと子どもにさせてええやんと思ったので反省に書いた。(せいぜい入退場曲で楽しむ。)</li> <li>・徒競走より団体競技！と自分も子どもも思っている。演目についてはもっと聞えよかったと後悔。</li> </ul>
-----------------	---	--

作文書いたり、声を集めてもらったり・・・

<p>9 総括</p>	<p><b>総括</b> (2時間)</p> <p>運動会作文を書く 1時間 3局総括会議 1時間</p> <p>3局に分かれて個人と曲全体のふりかえりを書く。</p> <p>③ のみ感想を募集し新聞づくりをするなど活動は続けてもらった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文も総括感想も学級だよりで紹介。</li> <li>・次は音楽会につなげようと伝える。</li> <li>・ソッコー新しい編集局が有志で立ち上がっていた。残って名前とか決めてた。</li> </ul>
-----------------	---	---

## <子どもらの総括から>

- ・ 6年の子らの声

詳しくは3局の総括プリント参照

#総括プリントスライドで紹介

- ・ 1～5年生の声

子どもたちの新聞で、みんなの感想を募集し、掲載。詳しくはおたより参照  
みんなで行った運動会感演出。※声集めは、こちらから編集局に依頼した。

#おたより紹介

## <まだ残っていたおとんの爪痕『運動会係活動』>

父が浜でいた時に実践していた運動会係活動に命かける実践。特に準備係のやつ。その文化がまだ残っていて、準備の練習とかを担当の先生が休み時間にしてくれた。だから子どもらは長一生懸命&自信を持って当日も自分の仕事をしている。その姿を親が見てまた感動する。という仕組み。その辺は渡瀬克美さんご本人に語っていただきます。

#おとんの話

※ただ“総括会議→次の年に反省を読んでスタート”の文化は廃れてしまった。。。

## <校長の言葉>

どんな実践もこちらの願いを信じてさせてくれるのがうちのビッグボスです。おかげさまでめちゃくちやのびのびとさせてもらっています。自分の考えや思いを私や子どもに伝えてくれるし、よく話もさせてもらっています。そんなビッグボスは毎日校長室だよりを発行しています。その中で、運動会前と運動会本番を終えてからの記事の内容がガラッと変わっていたので紹介します。百聞は一見に如かずとは言いますが、自分の考えを理解してもらうには、子どもの姿を見てもらうことが何よりの近道なんだなと思います。

#おたより紹介

## <保護者の言葉>

子どもたちの新聞を通じて保護者からメッセージをもらった。

※声集めは、こちらから編集局に依頼した。

一言で表現すると、「胸が熱くなった運動会」でした。どの学年も一生懸命ですごく輝いていました。何事も全力で一生懸命やる姿は本当にかっこいいと思います。それを目の前で見ることができ、感動しました。

また今年はこの「さよならホームラン」も毎回すごく楽しく読ませていただきました。6年生の皆さんは大変だったと思いますが、楽しそうに「さよならホームラン」を作っているのが伝わって



きました。自分たちで運動会を作れるなんて、他校ではありえないですし、小学生でそれができる皆さんは本当にすごいです！5、6年生の表現で、それが表れていましたし、感動して泣きました。

最高の運動会を見せていただきありがとうございました。(5年生保護者・中学校の先生)

運動会お疲れ様でした。高学年の運動会中にお仕事されていた生徒の方々が、とてもキビキビ、テキパキお仕事をされていて、立派で素敵だと思いました。5、6年の表現“smile”は感動のあまり涙が出ました。本当に素晴らしい運動会をありがとうございました。(1年生保護者)

天気にも恵まれ、とても楽しく感動与えてもらった運動会。幼稚園生から6年生までみんな笑って一生懸命な姿を見れました。浜小の良いところ。人数は少ないけれど、学年関係なく応援しあえる、みんなが友達。みんなが互いを思いやる場所。少ない人数だからできる、一致団結!!本当に子供からもらえるパワーはすごいなど…。何事も一生懸命にあきらめず全力で挑む姿に感動と勇気をもたらすとともに、学ぶところもたくさんありました。息子たちがこの学校で成長し、友達と過ごせたことを改めて嬉しく思いました。我が子ながら、本当にかっこよかったと…。ありがとうございました。お疲れ様でした。(6年生保護者)

浜小学校での運動会は私も子供もはじめての経験でした。以前は違う校区だったので、そちらの学校しか知らず、人数は浜の倍ぐらいいたのですが、浜は人数は少ないけど、その分絆がしっかりと繋がっていてみんなが一人一人楽しんで競技したり演技したりそれがすごく伝わってきてとても感動しました。楽しく観させていただきました。浜にハマりました！(多分4年生保護者)

#その他は当日資料のおたより参照

## <それぞれの感想から考える表現技術のレベルについて>

正直表現内容としては、拙いし、レベルは低い。いわゆる見栄えもそんなによくはない。何も知らない人から見たら、中学年でもできるようなことと思われるだろう。実際、練習の時の動画を飲酒した状態の父に見せたら「レベルは低いわな。しょぼい。」と正直に言ってくれた。

けれども、保護者や教師たちからは良かった・感動したという声を多く聞かせてもらった。(よくない感想はわざわざ言わないとはおもうけれども…。)企画からのパッケージで子どもたちの活動を新聞で伝え、本番でも曲をかける前に企画局のメンバーが前に立ち、新聞を読まない層(浜はこのパターンが多い)の保護者たちにこの表現の意図を伝える時間をとった。そんな状態で見てもらう。見た先に子どもたちがこの表現を気に入って踊っている。そうすると、我が子じゃなくても、表現する姿を通して子どもたちの努力や成長を見てくれる。そして、そういうことが感動につながるのだと改めて感じた。

子どもたちについても同じで、本人たちが納得して気に入って表現できると、内容のレベル関係なしに、やってよかったという充実感、達成感が味わえるのだと知った。教師の要求にこたえて高い技術の表現を行って味わう達成感や肯定感、そして得た技能そのもの、どちらが生涯にわたってその子にとって価値あるものになるのだろうと考えさせられた。例えば民舞に出会わせてあげたいと考えたとき、その踊りをやってみたいという気持ちにさせ、好きになっ

てもらうための多大な努力をしなければ、この達成感にはかなわないのだろうと思う。

自分たちでしたことによって、空間の使い方、状況に合わせた修正、誰かに教える工夫、苦手な子のための対策など、今まで経験したことのない力がついたように思う。(企画局のメンバーだけではなく全員なのかな?)これもまた表現技術であろうか?

図工の時はどうしよう?習字の時はどうしよう?音楽表現は?など、いろいろ派生して考えるきっかけになるかも。。。(私は“上手くしてもらった経験は大事!必要!”の信者でもある。)とめどない・・・。

### <3局効果はなんやったんやろうか>

- ① みんなに仕事があり、運動会そのものへの思いが強くなる。
- ② 餅は餅屋。自分の持ち味で活動できる。それが自信につながる。
- ③ どの人にも思いがあり、それぞれが今自分ができない仕事をしてくれている。  
「どの仕事も大事で、どの仕事も主役」ということが肌で分かる。  
(目立つだけがリーダーではない。ということは子どもたちに分かっておいてほしいことの一つ。)
- ④ ③のことにより、協力する気持ちができる。(フォロワーシップ問題)
- ⑤ 組織立って活動することをそのまま学べる。(中高での自主活動で使ってくれたらいいな...)
- ⑥ よその学級や先生たち、保護者に、何をしているのか、何をねらっているのか伝わりやすい。声掛けもしてもらいやすく、本人のやる気につながる。相乗効果。
- ⑦ みんなが見える。(練習で困っている人。今頑張っている人。新聞を読んでもくれる人。良いところや課題、相手が見えやすくなる。)
- ⑧ 運営側(教師たち)の気持ちが分かる。(振付ってこんなに難しいんや!みんなに教えるってこんなに難しいんや!おたよりつくるってこんなに時間かかるんや!っていう。そういう気持ちを知って、中学校の先生にも協力してくれたらうれしいな。)
- ⑨ 編集局は有志で続行。音楽会特集や先生特集など、現在も続行中。超大人しい女子2人組&男子2人組も参加してくれていて、うれしかったりする。代表委員会の新聞にもつなげたいところ…。そうすれば今後も続くかな?
  - ・全校児童向け『さよならホームラン』から『民』へ
  - ・高学年向け『FIRE』から『LOSS TIME』へ

### <私の反省>

企画局(ダンスチーム)に対してもっと信じてあげられた。待てばよかった。と思う。かなりでしゃばった授業もあった。打ち合わせが足りなかったな。それでも自分らでやったと子どもが思ってるから黒子率はまあまあかな?しんどい子のフォローはけっこうこちら側がしたけど、そんな風にはできないことは大人が助けるという図は悪くはないと思う。しかし、そういう困っている存在に局員たちが気づいていることが前提。最後の最後にフォローしたのは局員の子どもたちだったのでまあよしとしよう…。

## <ほんまはもっとやりたかった>

三重時代は、入学式・運動会・学習発表会・卒業式、すべて子どもが司会。それが当たり前だった。司会したから何やねんと言われればそれまでだけど。でも、子どもらでテーマを決めて、時には先生主導だけど、子どもが前に立って、目当てやふりかえりを言うのが当たり前だった。(その代わり高学年の先生はかなり大変だったと思う。)きっとそれは森川先生というわたくしの元祖師匠(斎藤喜博から学んでいる『授業研究会』の大家)の影響が大きかったのだろうけど、いつかそんな日が迎えられるようにこれからも頑張りたい。あと、入場行進とかね。

※

## 3. 例の子どもはどうやったんやっていう話

### ●Kさん

運動会実践は上手くいった。

初めは別の子(後で紹介するM)が応援団だったが、やはり嫌ということでリタイア。その時Kが代わりに名乗り出てくれた。超控えめに。(でも本当はやりたかったみたい。こういう風に我慢する子っていっぱいいるんやろな。)Kは昔ダンスをしていたことがあった。現在ダンスを習っている応援団のESと一緒に曲・振付を考えてくれた。二人とも上手。年下の子にも優しく教えられるし、真面目な子なので超活躍。休み時間にもあった応援団の会議や練習は、友達と上手くいっていないKにとっては安心できる時間だったのかも知れない。

「応援団」

私は最後の運動会で応援団になることができました。(めっちゃ嬉しかった。)

せっかく応援団になれたからめっちゃいい応援団にしよーって思いました。ダンスを考えているうちに応援団めっちゃ楽しいって思いました。そして曲、ダンスを決めるために夏休みにみんなで集まっていました。(結局何も決まらなかったけど...)

3局の時間、曲を決めました。(めっちゃもめた。)本番の2ヶ月か1ヵ月前に曲が決まりました。速攻でダンスをつくりました。そして6年だけで何回か練習して、6、5、4年の応援団で練習しました。(みんな覚えが良くてすごい楽やった。)

ロング休憩、昼休みに応援団で集まって、みんな一生懸命練習して、早めにダンスが終わってよかった。(1曲目)

そして2曲目は、TikTokの曲だったから、みんな意外に知っていたからよかった。

でもこの曲のダンスが難しかったらしくて、先生とTが簡単なダンスを考えてくれた。だから、ダンスが簡単なチームとダンスが難しいチームで分けてダンスの練習をした。

そして、白組とダンスを見せ合いっこして、練習が終わった。そしてついに本番...

本番何の曲がかかるか忘れてて、1番最初にかかった曲は白組の曲やって、赤組もめっちゃ踊った。自分の出番の2個前には入退場で集まらなかつたからそんなにダンスは踊られへんかった。でもめっちゃ楽しかった。ずっと運動会が良い!

※運動会作文より

その後の音楽会でも、同じように頑張る姿は見られたし、「この29人でできて良かった。」という記述もあった。

でも・・・書いたことだけが本当じゃない。その時の行事がうまいっても...というところ。

担任に対してはあれ以降何も無い。ある子との関係について母はずっと悩んでいるというか気にしまくっている。相手の子は幼馴染でずっと仲良かったが、いろいろ見えるようになってきて、Kの振る舞いに我慢の限界が来て無理！になった。今までも「それ嫌やから止めて」など気持ちは伝えてきたが、茶化して分かってもらえないので、距離をおいている。距離を置かれることなど諸々学校のことについてKは「学校何も楽しくない。」「私が我慢したらいいねん。」など家では言うらしい。でも本人の口から相手の子との関係をどうしたいなどそれとなく聞いても一切出てこないから手出しできない。一見何も心配なさそうな振る舞い。むしろ超いい子でいようとしているし、アンケートもええやつに印つけてくる。

いい子を演じることってどうとらえたらいいのか？

「あれ変やで。自分でも悪いことわかってんやで。ええよ。ほっとき。」 by 師匠(教頭)

↑高学年のプロ

※3学期現在、なんとなく相手の子も少し柔らかくなり、棲み分けしながら上手に付き合えている。

・・・ような気がする。気がする。

## ●AさんとDさんの関係

修学旅行前に大喧嘩勃発。どつきあい。

その後紆余曲折を経て棲み分けという形で落ち着いた。ごめんも言えた。

修学旅行では同じチームでゲームを楽しむ姿が見られた。

運動会では、同じ赤組(←宮本のせいwww)で、同じ実況係。どうなるかと心配したが、無事終了。曰く「大丈夫やって。分かってる。いける。」「実況は実況や。それはそれやん。そんなんでもメンバー変えたら他の子かわいそうやし。」

JA料理体験でも同じ班、席替えでも隣など、いろいろ何もいえねーな状況が続くも、上記のマインドで乗り越えていた。

音楽会では、互いに合唱・合奏の指揮を担当し、お互いの指揮に合わせて協力(ていうかノリノリ)していた。

#音楽会の動画

必要最低限程度しか話さないが、いやな対応はしないことをお互いに意識できている。この状況になるために必要だったこととして、

- ①クラスが安定している・周りの理解(周りが必要以上にあおらなくなってきた)
- ②本人たちの話を本人が納得できるまで聞く(本人の願いを知っておく)
- ③親に最後まで説明しきる
- ④どんな人になってほしいかという願いを担任が持つておく
- ⑤それぞれが活躍できる場所をつくる(行事最高。行事優勝。)
- ⑥結果を急がない(形だけのごめんは意味がない。でもやっぱり最後はごめんは必要だった。)
- ⑦他の先生にも助けてもらう
- ⑧ていうか私が嫌われてたらすべてが無理

というようなことが大事だなと感じた。

### ※3学期になって雪解け・・・？

最後の集団マットで男子たちが男子だけのターンで perfect human のダンスをやる！らしく、現在一丸となっておバカ丸出し＆真剣なダンスを練習中。なんかわからんけどまた仲良くなって、ロングは一緒にドッジするし、放課後男子全員で遊ぶして、ちょっと雪解けの予感。

初めは自分が苦手なので「もうええやんマット。いややマット。違うのしたい。」と言っていたDでしたが、自分が局員になりダンスありでみんなで楽しめそうな雰囲気になってくると、俄然燃え始める。超やる気。いわく「マットってあんま仲良くない子も仲良くなれるから好きやわあ〜」（まだマットの部分やってない。マットの上で踊ってるだけ。）・・・どんなやねん。嫌いなところもあるけど、やっぱり大事な仲間やし、仲良く終わりたいんやろなあと見ていて感じます。

### ●良い顔するけど、放課後の姿・・・

子どもだけで海に行く。しかも1学期終業式に行かんとこなって言ったその日に。

(・・・まあ浜地区ではかわいいもんやけども。)

悲しいし、腹立つし、心配やし。ということで、心配と悲しいを伝えようと思い、子どものふりかえりを聞いてから、関係する世の中のありとあらゆる事件を紹介。なんで親や教師があかんって言ってるのかを分かってもらえるように務めた。心が離れないように。そういうことの繰り返しで、修学旅行でも、スマホを持ってくる子はいなかった。(校長も「もし持ってきたら。今こんなにお前らのために頑張ってくれてる宮本先生、めっちゃがっかりして落ち込むと思う。お前らの思い出も台無しになるで。」というような話を私抜ききの時間にしてくれたらしく、それで心動かされて持ってけーへんかったという子がいた。信じるって大事。ていうか普段から校長などいろいろな人の話を聞かせてもらう時間をとっているから、大事な時に話が入るねんと思う。)

### ●引っ込み思案のSさん大活躍

実行委員の威力は恐ろしく、人前が苦ではなくなるようだ。自信がなく、以前はターゲットにもなったことがあるSさん。運動会では企画局に入り、器械体操の内容を考え、司会もしてくれた。

本人の真面目さ、誠実さが光り、期日までにみんなの並び順を考えてきてくれたり、失敗したところの修正案を考えてくれたりと大活躍。そんな姿を見たいた他の子も「Sすげえ」となった。このような再評価はいつもはフォロワーとして活躍する他の女子たちにもよく見られた。ほんま女子ありがとう。でも女子ってくくってごめん。

運動会終了後は、編集の有志メンバーとなりこちらでも活躍。取材のために年下の子に話しかけ写真を撮ったりと、役職が彼女を新しい世界に連れて行っているなと感じた。2学期末は、趣味のアクリルスタンドづくりをみんなに教えてくれた。授業中、私が本当に何も知らないし何も知らなくて役に立たないのでみんな彼女を呼びまくっていた。

今後はもっと自分の意見「～したい」「～はしたくない」をしっかりと言えるようになることが課題。会話のタイミングも。

※彼女の素地はやはり5年の担任の力が大きい。うまく引き継ぐこと。次の学年に向けて芽を見つけて少しでも育てることが大切だなと思う。

※教育観が自分とは違う先生であっても、逆に言えば自分が育てられない部分を育ててくれたということだから、ありがたいと思うといういろいろ過ぎやすい。・・・ということが、去年と今年で分かった。(教師でない友人が、「千絵みたいな先生に出会いたかったし、そんな先生増えたらいいけど、厳しいこととか理不尽なことを言う先生も自分は出会って良かったと思う。いろんな人がおるって知る機会になった。）」と言っていた。浜小学校秋桜化計画はあきらめていないが、どの要素も大事と思ってみんなで持ち味を活かしたらいいんやなと思うきっかけをくれた。それが当たり前というスタンスで子どもに関わると、子どもが違う価値観に出会ったとしても、混乱させずに済む気がする。

(それにこだわりの強いわいが変にぶつからずに済む\(^o^)/)

#### 4. 自分の実践を学校づくりや職場づくりにつなげるためには・・・

<何を意識したんか・やったんか>

協力する・相談する・合意をとる・おたよりを配る・“頑張る”(交渉とか…)

その中でも特に！自分がどんだけ嫌われてても、相手がうざくても、相手に協力しまくる。子どもを信じて育てる。そうすると、「子どもたちの様子(変化)を通して、相手が自分の思いを分かってくれて好意的に受け止めてくれるようになる」ということがこの一年(浜に来てからの3年間)でよくわかった。

# 音楽会の話

「めっちゃ頑張ったアコーディオン」

私は、最初にはアコーディオンになろうとは思っていませんでした。去年はオーディションに落ちて、(今年も無理なのかなあ)って思っていました。でも、コロナでリコーダーができなくなって、ちょっとだけやる気が出ました。

(アコーディオンを)練習したら、(こんな簡単やん)って思っていました。

「めっちゃ簡単。」

とか言ってたら、(音楽の)先生に、

「これからめっちゃむずなるで。」

って言われて、友達に、

「アコーディオンむずい？」

って聞かれて、

「余裕、余裕。」

って言っていました。

オーディションに受かって練習していたら、(全然わからへん)って思いました。でも、(なんとかなるやろ)と思いました。でも、どんどんやるどころが多くなっていて、サビしか完璧にできなくなっていました。

最後の音楽室練習で、全部通せたら、やっぱりサビしかできなかったです。みんな、

「イェーイ」

って言っていて、めっちゃ悔しかったです。それで、廊下で1人で座りながら練習していたら、ちえ先生が来て、教えてもらいました。前までは一気に覚えていたけど、ちえ先生に、

「ここだけ集中しよ。」

って言われたから、1つのことだけをずっと練習しました。それをやったら、覚えてきて、またやる気が出ました。

私は褒められたらやる気が出てくるから、友達や先生、家族に褒められたから嬉しくなって、諦めらんこうと思いました。

アコーディオンは音が響くから、間違えたら、

「あっM間違えた。」

ってなるから、めっちゃ不安でした。でも、せめて、やりなさいって言われたところは大きい音でやろうと思っていました。

ロングや昼休み、放課後に、ちえ先生と(音楽の)先生とめっちゃ練習しました。放課後でみんなも練習していて、みんなで合わせるときに、

「Mやったらいける。」

て(音楽の)先生に言われたから、初めからやりました。この時は最初からサビの後のちょっとだけできるようになりました。でも、速さとかはまだまだやから、家で妹のピアノを立てたらアコーディオンみたいになったから、それでめっちゃ練習しました。

だんだん、出来へんって言う気持ちが、出来るっていう気持ちになっていて、みんなで合奏するのが楽しくて、毎日楽しみになっていきました。

全然みんなと比べたら下だけど、自分のペースで行ったら、今自分がどこがわからへんかがわかるから、いい経験だなと思えるようになりました。楽譜をずっと見て、言葉を覚えたら、いつの間にか出来るようになっていました。

最初1番苦手で何回やってもできなかつたところも、1番得意になりました。スマホで、どういう風にアコーディオンをひいているかも見ながら、自分も妹のピアノで練習しました。

本番が近づいてくるにつれて、出来ることが増えていって、堂々と音が出てくるようになりました。リハーサルの前の日は、まだ全部完璧ではありませんでした。めっちゃ不安やったけど、心の中で、

「いける」

ってずっと行ったら、不安が消えました。

リハーサル当日の日は、めっちゃ心臓がバクバクしていました。でも、始まってからは全然心臓がバクバクしませんでした。多分ママ以外誰も見ていないと思ったからです。リハーサルは失敗する事はなかったです。めっちゃ嬉しかった。

帰ったらママに、

「合奏であんなに感動したの初めて。」

って言われて、明日は今日以上にもっともっと頑張ろうと思いました。

本番の日は、朝起きた時から緊張しているかなと思ったけど、そんなに緊張しませんでした。

でも、入場からめっちゃ緊張して足が震えていました。リハーサルは、合奏のときには緊張はしていなかったけど、合奏の時までもずっと緊張していました。

失敗してしまいました。それだけがめっちゃ後悔しました。でも、諦めずに笑顔で終われました。そこで諦めたら、みんなで練習した意味がないと思ったから。間違っただけ後悔するより、諦めて後悔する方が、一生後悔するから本当に良かったと思っています。

1回目が終わって、校長先生に、「ミミミミミレミ…」のファーストのところからもう一回やってって言われたから、もう一回やりました。私はそこが1番苦手で何回練習しても間違っただけで全然出来ませんでした。だからめっちゃ不安でした。でも失敗せずにできました。めっちゃうれしかったです。

校長先生が、

「みんなが1つになれば素敵な合奏になる。」

と言って、本当にそうだと思っています。

本番の1回目は失敗したけど、失敗もいい経験だなと思っています。他の子も、失敗した人はいっぱいいると思うけど、あきらめなかった事はすごいと思う。

大きな楽器や小さな楽器関係なしで、みんなが主役。この音楽会でみんな成長したと思う。最高の音楽会にできたのは、みんなの協力と、(音楽の)先生とちえ先生のおかげ。みんなで音楽会ができてよかった。

※音楽会作文より

来年も研究主任を任せてもらえるのであれば、一つの象徴としての運動会、日々の授業実践を意識してもらうとともに、他の教科も同じように子どもとその発達、学習のねらいを捉えてもらえるようにしていきたい。

※音楽の先生が人権担当で、市への報告として、上記のMの成長を主に書いてくれた。その時に、教師の願いや一年の取り組みを改めて聞きにくれたり、校内研究の資料を活用してくれたり、また一つ輪を広げていってくれたように感じた。これからも続けていきたい。

## 5. やっぱり行事は大事やわ

### <生活科とかお楽しみ会ってめっちゃ大事>

この子らの人前での怖じ気づかなさ。なんでも面白がってやってみる雰囲気。素地は低学年からのお楽しみ会などにあると感じる。1年生の先生が種を蒔いてくれていた。子ども発信のイベントやキャンペーンもクラスに取り入れてくれていたらしい。それがその後の先生に代々引き継がれている。4年ではもう仕上がりつつあり(子どものやりたい!に伝えてくれた)、5年で新たな才能の開花を迎え(パーティー文化を芽吹かせてくれた)、6年で集大成。今後下の学年を持ったら、今一度そういうところも視野に入れたい。

・・・っていうか、誰かのやりたいをみんなで応援して乗ってくれるこの子らがすごい。フォローシップほんますごい。

### <行事での子どもの姿は学校への信頼に～おかんの一言～>

開かれた学校づくり。信頼してもらえる学校になるために。

音楽会シーズンだったある秋の日。Nコン8連覇の東京都日野市立七生緑小学校が初優勝した年に歌った『ふるさと』をYouTubeで母と見ていた時のこと。めちゃくちゃすごいその歌声と子どもたちの懸命な姿に感動したおかんが、

「こんだけのもん見せられたら、学校になんでも協力しようって思うな。言う通りにしますって思うわ。任せようと思う。」

というようなことを一言。学校行事をちゃんとすることって、学校への信頼につながるんやなと気づかされた。運動会は終わった後だったが、やっぱり全力でやって良かったなと思ったし、音楽会も改めて全面的に協力して一緒に子どもたちの成長をフォローしようと思った。

(七生緑の『ふるさと』、まだ聞かれたことのない方はぜひ一度ご視聴ください!えぐいです。感動で。場合によっては涙出ます。3分15秒のやつがおすすめです。)

### <一つの行事が次への活動につながる>

修学旅行からの運動会からの音楽会からの・・・

音楽会の合奏がえぐいぐらい良かった。ほんまに良かった。子どもらも音楽の先生も宮本も多分ビッグボスも、みんなのサイコーの思い出になったことだろう・・・。

### <かけがえのない人生の1ページ>

授業で勝負するけど、結局思い返すことって、行事が多いように思う。行事の思い出とともに、誰かに大事にされたこと・自分が頑張れたこと・友達を思いやれたことなどが思い出されたらいいなと思う。そういう“未来へのお守り”にするために、企画、練習、本番、総括までのパッケージを大切にしたい。



## 6. 次は学習や！ほんで卒業式や！てかまだ3局もやるしな！

### <遠足・参観・編集の3局>

遠足、参観は中止になったが、代替りのものを企画中。毎週3局入れて活動中。

※卒業式は別枠で全員参加の実行委員。

### <学習>

- ・平和学習として社会の50年戦争の学習。からのピースネット。今めっちゃ燃えているところ。発表時はもう終わったところかな？
- ・性と生の学習も引き続き。避妊や性的同意、SOGIの学習へ。
- ・算数は前述の通り、自分で計画。得意不得意の把握と苦手克服。基礎固め中。

### <中学校への不安に寄り添う。解決策を示す。>

中学校も隣の学校の6年も荒れてるとあって、子どもたちはとても不安に感じている。当たり前だが親もめっちゃくちゃ心配している。

そういったときに、その事実から逃げるのではなく、情報を伝え、予想される出来事と、解決策を一緒に考え、提示している。

もしクラスが荒れたら。結局フォローシップが効いてくる。どんな行動に賛同するのか。協力するのか。勇気を出せる子は出す。その時にどれだけ仲間がいるかが影響する。難しくても、ほんの一言声をかけるだけで変わる。先生の言葉よりクラスメイトの声のほうが響く。先生の言うことに賛成できるなど思うなら、その先生に応援の気持ちを言葉にして伝えるだけでも、励まされて頑張ろうと思える。・・・というようなことを伝えている。

そのために、大人不信は絶対に避けたいし、こうやって育ってきたことを中学校の先生に引き継いでいきたい。

・・・こういう話をしているときに、社会や平和学習で「自分に引き寄せて考える」の意味が自分でもよくわかります。ここまで引き寄せるには、年に1回の平和学習では無理ですね。